

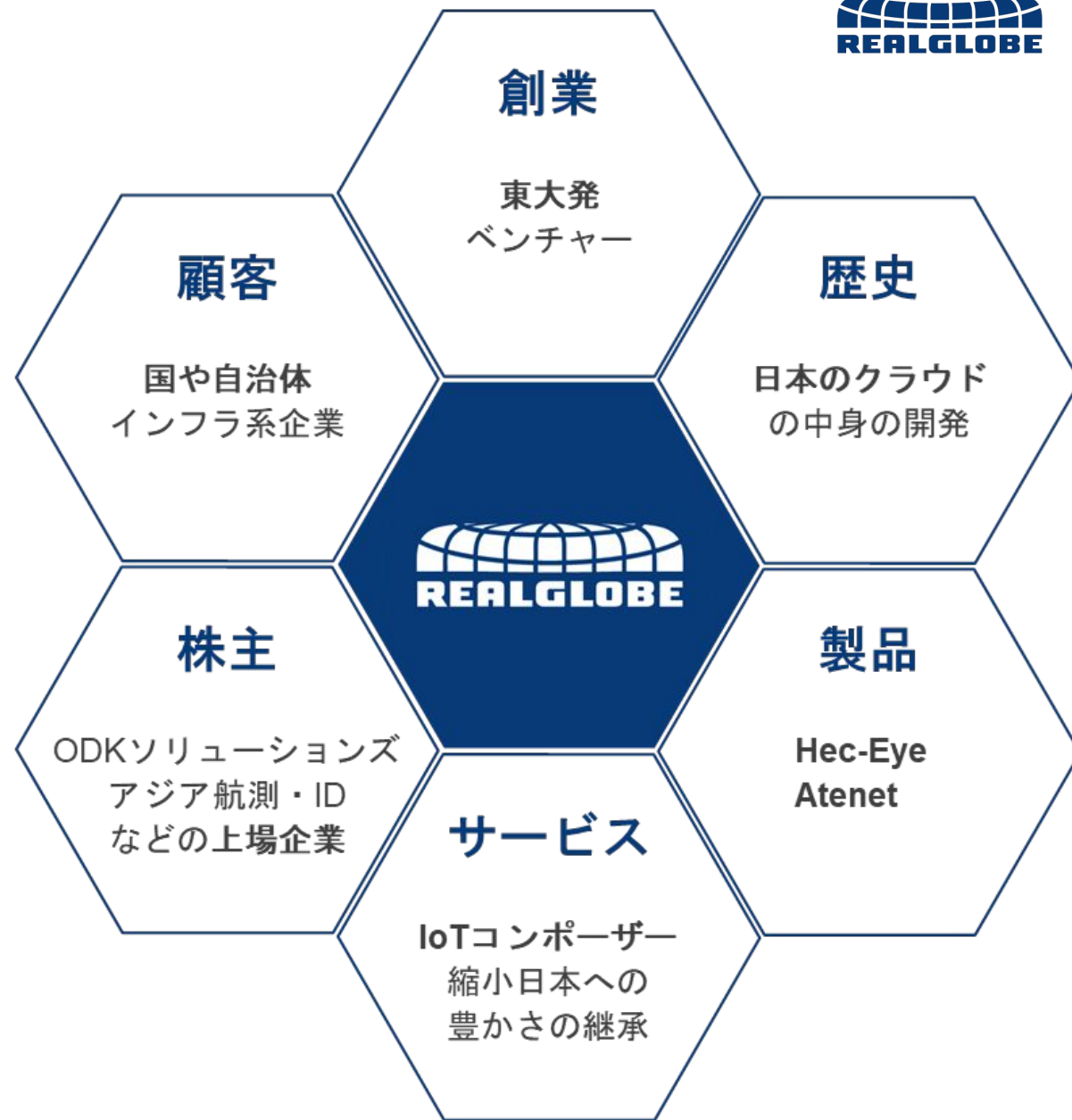


株式会社リアルグローブ PLATEAU User's Summit

会社概要



会社名	株式会社リアルグローブ
設立年	2008年 10月 1日
資本金	約2億3677万円
所在地	東京都千代田区三崎町2-20-4 八木ビル201
代表取締役	大畑 貴弘
従業員数	28名
主要取引先	総務省 経産省 兵庫県庁 熊本県南小国町 鹿児島県曾於市 アジア航測 ODKソリューションズ エンカレッジテクノロジー



地方をDXして、縮小日本へ豊かさを継承する

2020年、縮小日本の現実

797
自治体が過疎

54万人
自治体職員減少

1.4倍
の豪雨災害

さらに

2030年、縮小日本の現実

31.8%
65歳以上

644万人
労働者が不足

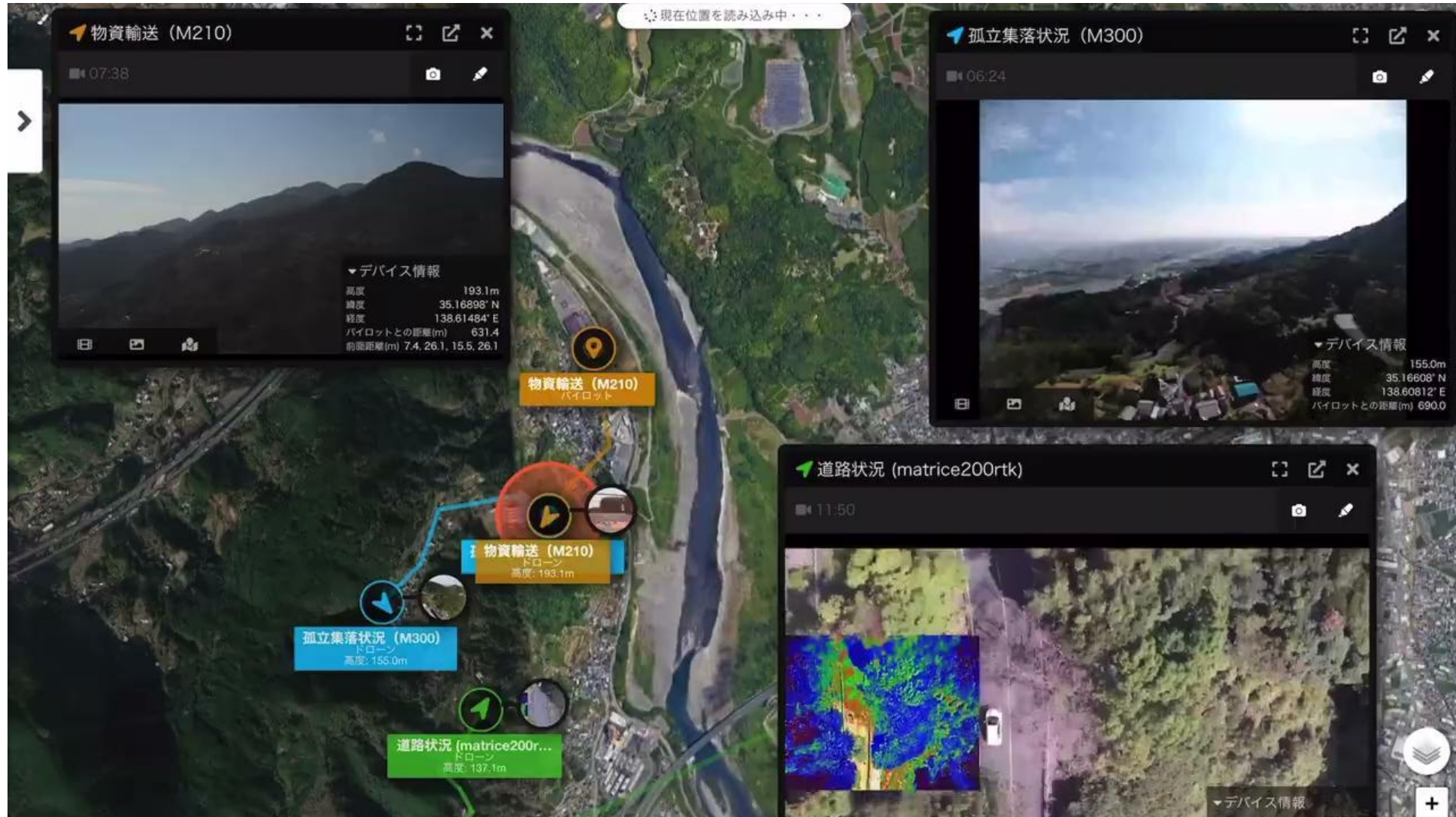
67%
築50年以上

四次元地図 × AIで、 作業着を着て頑張る人の業務効率化をしたい



そうすることで、**未来に豊かさを継承**したい

四次元地図とは



四次元地図とは

地図上にリアルタイムで情報を集約し共有できるプラットフォーム=四次元地図を使って、

現場の今を地図に載せよう



ドローン



スマートフォン
タブレット



スマートカメラ
定点カメラ

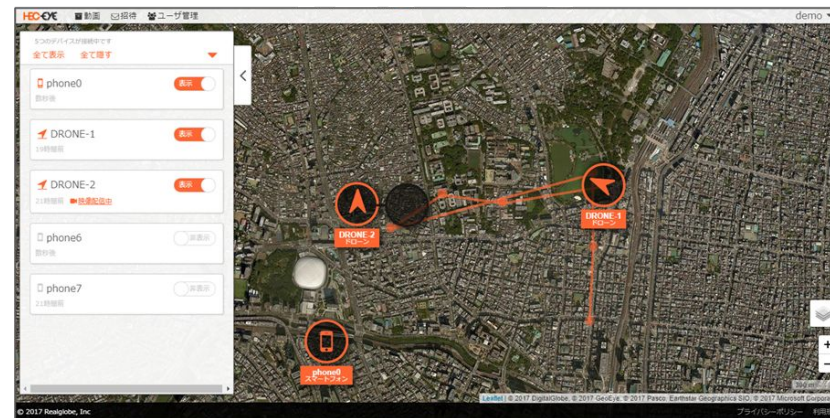


センサー

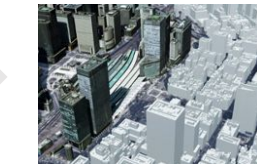
リアルタイムに
データを集約

現場で収集した各種情報を一元管理
状況把握や報告書作成等の効率化を実現

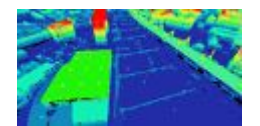
四次元地図で一元管理



AI連携



3Dモデル化、属性付与



異常検知、被災予測、
不審者発見、自律対応

報告書自動作成



CSVやShapefile形式で出力



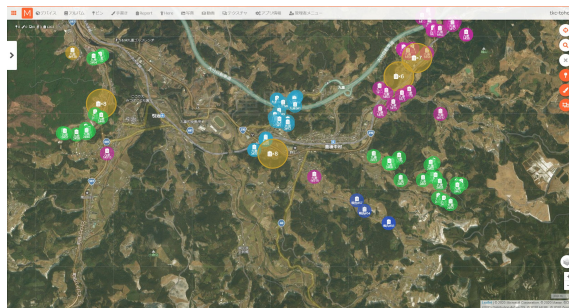
Webに公開

四次元地図活用の事例

災害対応

約8ヶ月かかっていた規模の災害対応が、約3ヶ月に！

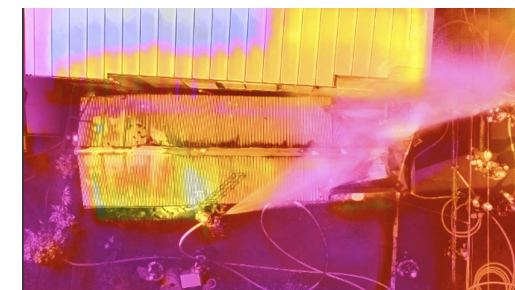
今までは、紙の白地図を使って行ってきた豪雨災害後の現地調査をスマホで実施。特別な訓練を受けていない人員を投入し、1,300件以上の情報を集めた。



消防活動

平時の水利登録や燃え残り確認等を現場活動をDX！

火災時の燃え残り確認や現場情報の共有に四次元地図アプリを活用。消防庁や内閣府との連携もAPIを活用してシームレスに実現した。平時の水利設備の調査点検にも活用している。

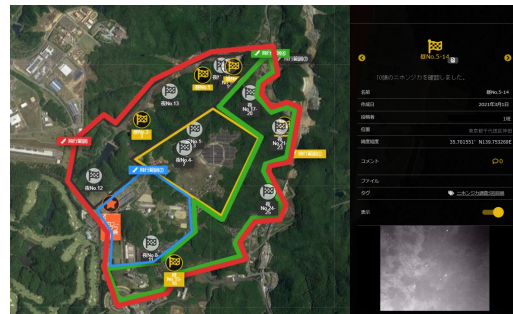


鳥獣害対策

発見確率の向上、捕獲数の向上に貢献！

生態調査を実施、リアルタイムに情報を地図上にプロットし、効率よく調査を完了できた。

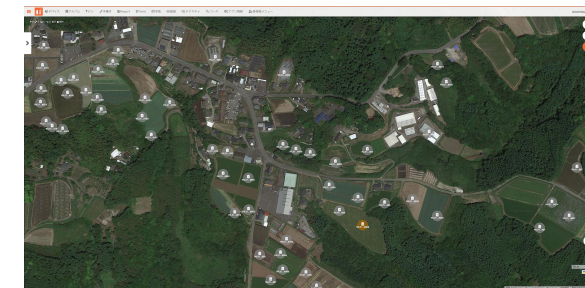
さらに、今までは、紙で行ってきた捕獲報告をデジタル化。



転作確認・作付調査

3万地点行う毎年の調査が、1ヶ月前倒しで完了！

今までは、紙に印刷したリストを元に手書きのメモを、帰庁後、PCに入力してきた。四次元地図アプリに調査地点を登録し、現地で直接スマホから調査結果を入力することで、大幅な時短を実現した。

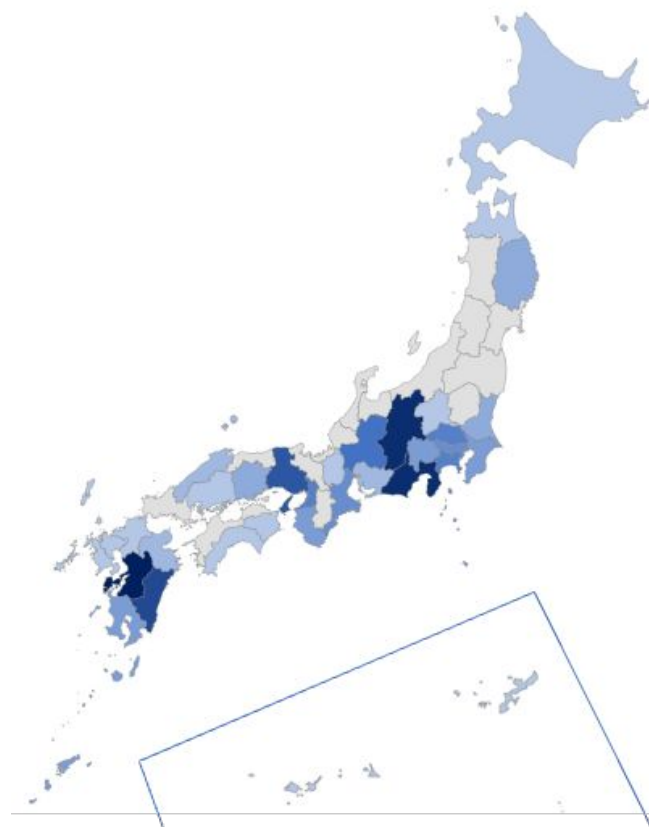
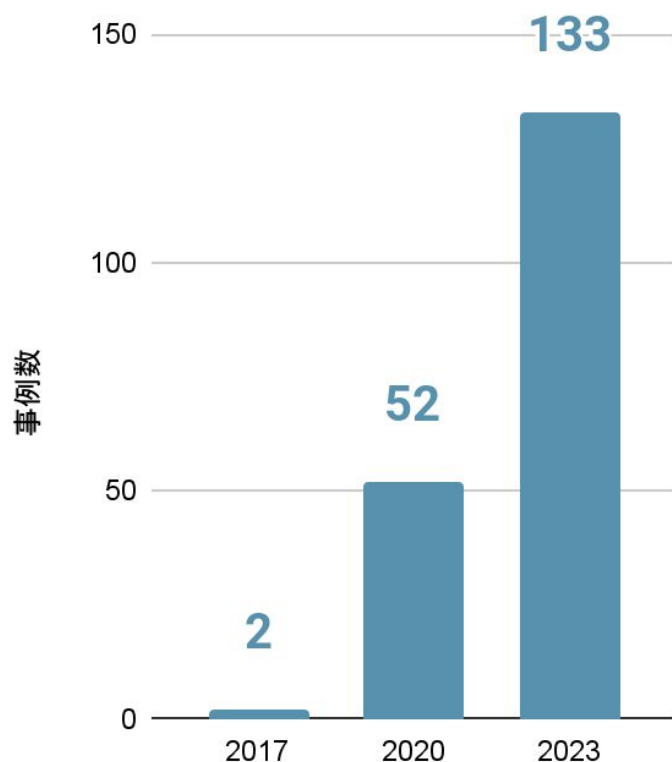


活用実績

活用実績は133件、総務省消防庁への試験導入も決定

NEXs TOKYOの活動等を通じ、新たに獲得したリードは46件

四次元地図OSの活用実績



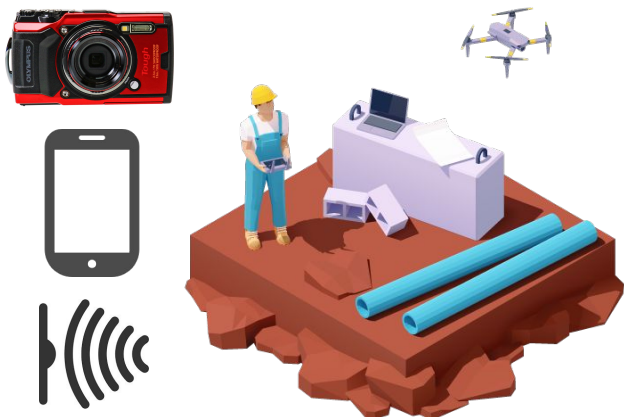
商談の状況

対象規模	件数
省庁	1
県庁	4
市町村	41

四次元地図 x AIで解決する現場の課題

現場で取得した情報の集約と活用のための手間と時間

現場確認



あらゆる手段で情報を収集

紙でメモして
Excelに入力

リアルタイムに
検知できない

帰社



事務所作業



収集した情報を集約して活用

帳票は紙やPDF
で保管

検索や集計、
共有が難しい

確認



フォルダ管理

時間や位置、
データ同士の関
係がなくなる

PLATEAUへの期待

次は立体地図の上に リアルタイムに情報を載せよう！



リアルタイムに
データを集約

現場で収集した各種情報を一元管理

専門家だけでなく、
素人でも一目瞭然



例えば・・・

3Dハザードマップの
上でリアルな
避難ルートをナビ！

今までは、
水平避難はできたが、
垂直避難は困難だった。

他にも、
被災情報の可視化や
教育教材の作成、
復興施策の検討等々